

○課題研究ヤドカリ班の研究がマリンチャレンジプログラム2021に採択！

公益財団法人日本財団や総合海洋制作本部、国土交通省が中心となって実施されている海を未来へと引き継ぐアクションの輪を広げる「海と日本PROJECT」というものがあります。この取り組みの一つに、公益財団法人日本財団や一般社団法人日本先端科学技術教育人材研究開発機構

(JASTRO)、株式会社リバネスが運営する「マリンチャレンジプログラム」というものがあります。これは、海に関する研究を行う高校生に研究費助成とオンラインによる研究サポートを行うというものです。今回このプログラムに今回GS科の2,3年生の計5名が行っている課題研究ヤドカリ班の研究「ユビナガホンヤドカリの宿の選好性に関する研究」が採択され、認定証授与式とキックオフミーティングに参加しました。

3年生は6月の課題研究発表会、2年生は8月の同プログラムの近畿ブロック大会を目標に現在も活動中です。応援よろしくお願いします。



○Griffith University（オーストラリア）のオンライン講義に参加しました

5/10(月)に実施されたSSH校である東京都立多摩技術高等学校とオーストラリア大使館が主催するオーストラリアのグリフィス大学Francesco Olivieri先生によるオンライン講義「AI Challenges(for the next 20 years)」に本校GS科1,2年生と希望する3年生が参加しました。

もちろん、講義はすべて英語。スライドには初めて目にする単語がたくさん並んでいたと思われます。それぞれの意味を辞書を片手に必死に理解しようとする姿も見られました。Olivieri先生には予定されていた終了時刻を超えて、さらに聴講者からの質問にも丁寧に応えていただき、参加各校と充実した時間を共有することができました。



3年生の課題研究発表会では英語によるポスターセッションを行います。また科学の世界で、最先端の内容に触れるためには英語の4技能は必須になります。もちろん課題研究でも英語で書かれた論文を研究の参考にする機会が増えてきます。これからも、英語活用能力にますます磨きををかけていくことを期待します。

日本生化学会近畿支部例会 シンポジウム参加者募集中！（再掲）

前回案内しました第67回日本生化学会近畿支部例会の特別シンポジウム「日本の生化学の真骨頂～その源流とライフイノベーション～」のライブ配信ですが、下記の通り決まりました。講演者は各分野の第一人者ばかりです。生物学や医学、薬学等に興味がある人はぜひ参加してください。

5 / 2 9（土）16:00～17:40 学校会場は15:45～18:00 @アゴラ（出入り自由）

16:05～「PD-1 の分子機能と PD-1 抗体を用いた免疫治療」茶本 健司 特定准教授（京都大）

16:35～「小胞体・ゴルジ体ストレス応答と神経変性疾患との関連」吉田 秀郎 教授（兵庫県立大）

17:05～「原核微生物研究がもたらした遺伝子操作技術からゲノム編集実用化まで」石野 良純 教授（九州大）

※5 / 2 8（金）までにGS科の先生に申し出るか、アゴラ（GS科準備室）前の申込用紙に記入してBOXに提出してください。（座席に余裕があれば当日参加もOKです。）

科学コンテストの学校申し込みについて（再掲）

前回は科学コンテストについて案内をさせていただきましたが、次のコンテストの締め切りが近づいています。

- ・化学グランプリ2021（IChO選考会）

校内締切：5/28(金) 一次予選：7/15(月・祝) CBT方式 受験料：無料

※希望者対象の対策講座を開講します。（対策講座については亀田まで）



- ・日本生物学オリンピック2021（IBO選考会）

校内締切：~~5/24(金)~~→5/26(水) 一次予選：7/18(日) CBT方式 受験料：無料

※希望者対象の対策講座を開講します。（対策講座については木村まで）



各選考会へ参加する生徒はどちらもGS科井上(宗)まで申し込んでください。

GS科準備室内のフリースペース「アゴラ」について

4階の図書室の横にあるGS科準備室には、ちょっとした実験や談話をしながら自習したり、プレゼンの練習ができるスペース「アゴラ」を設置しています。

少し入りにくい印象があるかもしれませんが、ホワイトボードやプロジェクタ、ディスプレイ、インターネットにつながったパソコン、iPad等の使用することができます（少しずつ設備が充実してきました）。このスペースはGS科の生徒に限らず、普通科・演劇科の生徒も利用可能です。また、考査前でも教員が在室している時は利用可能です。

アゴラでできること

- ・自習や自主的な勉強会
 - ・パソコンなどを使っての発表資料の作成
 - ・ミーティング（ホワイトボードも利用可）
 - ・プロジェクターやパネルを用いた発表練習
 - ・探究活動に係る資料の印刷（必ず教員に声をかけてください。）
 - ・オンラインでの研修や面談、発表会の利用できます。（要事前予約）
- ※いずれも4人以上で利用する場合はできるだけ予約してください。



このご時世なので少し制約もありますが、ぜひ活用してください。